

【図書館／関連団体／その他関連事業】

●かわだ文庫

河和田地区において、読書活動を通じて心豊かな子どもたちの発育を支援することを目的として、1993年、地区内の母親を中心に発足しました。

河和田公民館内文庫の部屋は、子どもたちが読書に親しむだけでなく、母親への育児支援やコミュニケーションの場でもあり、世代を超えて利用される交流の場となっています。市の東端にある河和田地区在住で図書館への来館が困難な方には、図書館分館としての機能も果たしています。

2019年度は、河和田コミュニティーセンターの大規模改修工事が完了し、4月14日（日）にオープニングセレモニーが行われました。誰でも利用できる場となり、いつでも読みきかせや読書が楽しめるようになりました。



【主な活動】

- ・かわだ文庫の部屋での図書貸出・返却、書棚整理（毎日）
- ・河和田小学校での読み聞かせ（年30回）
- ・お楽しみ会（年4回）
- ・地区内外の保育園、児童センターなどでの読み聞かせ（随時）
- ・文庫新聞発行（不定期）
- ・おはなし会（年4回）

図書館では、かわだ文庫蔵書のデータ登録、図書館ハンディ端末を利用した蔵書の貸出・返却データ管理、年1回の図書館蔵書点検にあわせての蔵書の点検、選書・配架などへの助言、図書館蔵書の長期貸出などの協力を行っています。

●さばえっこ図書ボランティアネットワーク

学校と地域が協力して学校図書館ボランティア活動を行うことで、子どもが本に親しむ環境を整備し、子どもの健全な育成を図ることを目的として2008年3月に設立されました。学校での読み聞かせボランティアや読書を通して心豊かに育ててほしいと願う地域の大人が、情報交換や学習会など校区の枠を越えて子どもの読書推進活動に取り組んでいます。

【主な活動】 研修会（年4回）／講演会（年2回）／広報誌発行（年3～4回）など

子どもゆめ基金助成活動として2019年度は2回の研修会、講演会を開催しました。

- ①「絵本は心を育てる特効薬～ありがとうかこさとしさん さようなら かこさとしさん～」
2019年5月26日（日） 講師：谷出千代子先生（かこさとしふるさと絵本館館長 仁愛大学名誉教授）
- ②「子どもの成長と絵本～子育てには、やっぱり絵本～」
2019年11月30日（土） 講師：斎藤惇夫先生（児童文学作家）

図書館では、さばえっこ図書ボランティアネットワークの研修会・講演会への会場提供、研修会での講師派遣、学校読み聞かせボランティアへの図書貸出期間を団体同様30日とするなど、読み聞かせ技術向上やボランティア交流への協力を行っています。

●えきライブラリー tetote(テトテ)

2015年1月、JR鯖江駅2階に「えきライブラリー tetote (テトテ)」がオープンしました。この事業は、2013年の鯖江市地域活性化プランコンテストで学生より提案のあった「JR鯖江駅2階の空きスペースを有効活用し、まちづくりにつなげる」というプランをきっかけに実現したものです。市内2つのNPO団体からなる協働事業体が運営にあたります。

施設には図書館の蔵書(約900冊)が設置され、カフェで食事を楽しみながら本を読むことができます。貸出、検索、返却も可能です。インターネットで予約した本を受け取ることができます。夜はライブスタジオの機能も有し、新たな駅前の賑わい拠点として、市の玄関口の活性化にもつながるものと期待されています。

2016年9月29日より、図書館のカウンターや電話で予約した本を受け取ることができるようになりました。

2019年度 実績	貸出	551冊
	返却	973冊
	インターネット予約 tetote受取本 (※年度内に受付した数)	409冊

※【返却】 設置された返却boxへ返された本の数。



旅行やビジネス、ティーンズコーナーなど、駅を利用する方を想定し、図書館職員で本をセレクトしました。

図書館では、tetote 設置本のデータ登録、図書館ハンディ端末を利用した蔵書の貸出・返却データ管理、展示本の定期的な入替、インターネット予約本の受取手配などの協力を行っています。

●夢みらい館さばえへの図書貸出

図書館では、夢みらい館さばえに奇数月第2木曜に図書を貸出しています。
(一般向け200冊・児童向け50冊、計250冊)
貸出図書は、一覧データにより夢みらい館さばえが管理・運用しています。

2019年度は耐震改修工事のため休館していましたが、2020年4月からリニューアルオープンします。貸出冊数も従来の200冊から250冊に増やし、来館者の閲覧や近隣在住の高齢者の利用、図書館への来館が困難な人々への読書機会の提供に寄与しています。

